

授業科目 成人慢性期看護学演習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
目黒 優子、大武 久美子		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	○	
【概要・一般目標：GI0】 慢性の病いとともに生きる成人期にある対象者が、病気と家庭生活、社会生活の折り合いをつけながら生活できるためのセルフマネジメント支援について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. セルフマネジメント支援のために必要な構成要素およびそれらを支える理論について説明できる。 2. 慢性の病いとともに生きる成人期にある対象者へのセルフマネジメント支援の実際について演習を通して習得する。 3. 慢性の病いとともに生きる対象者およびその家族に対する看護者としての態度を養う。					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	授業ガイダンス、慢性期看護とは、TBLとは	1	講義、担当：目黒 優子		
2	TBLを用いた事例展開1 ～2型糖尿病患者の事例～ 1) TBLの進め方、2) フェーズ1（個人学習）：糖尿病	2.3	講義・演習、担当：目黒 優子		
3	3) フェーズ2（準備確認）：糖尿病【多肢選択式の個人準備テスト（IRAT）、多肢選択式のグループ準備テスト（GRAT）】、	2.3	講義・演習、担当：目黒 優子		
4～8	4) フェーズ3（学習のテーマの応用）：グループワーク 1 患者面接計画 2. 患者面接の実施・評価 3. 事例の患者に必要な患者教育の立案	2.3	講義・演習、担当：目黒 優子		
9・10	発表、質疑・応答	2.3	演習、担当：目黒 優子		
11	自己血糖測定、インシュリン自己注射	2.3	講義・演習、担当：目黒 優子 他		
12	糖尿病患者のフットケアの実際	2.3	講義・演習、担当：目黒 優子		
13～15	TBLを用いた事例展開2 ～NANDA-I看護診断を用いて、計画の立案を行う～		講義、担当：目黒 優子		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書	成人看護学 慢性期看護論 第2版	鈴木志津枝、藤田佐和	ヌーヴェルヒロカワ	2009・2,400円＋税	
	慢性疾患を生きる ケアとクオリティ・ライフの接点	南裕子 監訳	医学書院	2001・3,600円＋税	
	慢性疾患の病みの軌跡とストラウスによる看護モデル	コービン ピエールウグ 編集、黒江ゆり子 訳	医学書院	1995・2,700円＋税	
	クロニックイイルネス 人と病いの新たなかわり	アイリーン・モロフ・ラブキン、パマラ D. ラーセン	医学書院	2007・6,800円＋税	
	ナーシング・グラフィカ 成人看護学 3 セルフマネジメント	安酸史子、鈴木純恵、吉田澄恵	メディカ出版	2015・3,000円＋税	
その他の資料					
【評価方法】	チーム検討・発表：60％程度、定期試験：30％程度、ピア評価：10％程度		【履修上の留意点】 事例展開ができるように上記に挙げている疾患の病態生理について自己学習をして臨んでください。		